


新妊婦・授乳婦の 歯科治療と薬物療法

安心で安全な処置・処方のために

著：藤井 彰（日本大学松戸歯学部臨床薬理学教授）・秋元 芳明（日本大学松戸歯学部口腔外科学教授）

B5判 カラー 112ページ 定価5,040円（本体4,800円＋税） ISBN978-4-901894-73-9



その薬、
あかちゃんに
大丈夫？

大ヒット・ロングセラーを記録した旧版を全面改訂、大幅増ページ！妊婦・授乳婦の薬物療法については薬品名、処方、薬効、安全性、注意事項など、全てにわたって見直しをおこない、妊婦・授乳婦の歯科治療についても妊娠性歯痛について、妊婦の合併症についてなどを追加しました。特に、薬品名一覧は最新の情報に基づいて更新し、抗炎症薬の安全性、ステロイドの安全性、局所麻酔薬の安全性一覧を加えるなど、より一層充実させました。

砂書房

〒113-0033 東京都文京区本郷3-13-5
TEL 03-3814-6251 FAX 03-3814-6285

砂書房

検索

本のご注文は歯科材料店さんへ



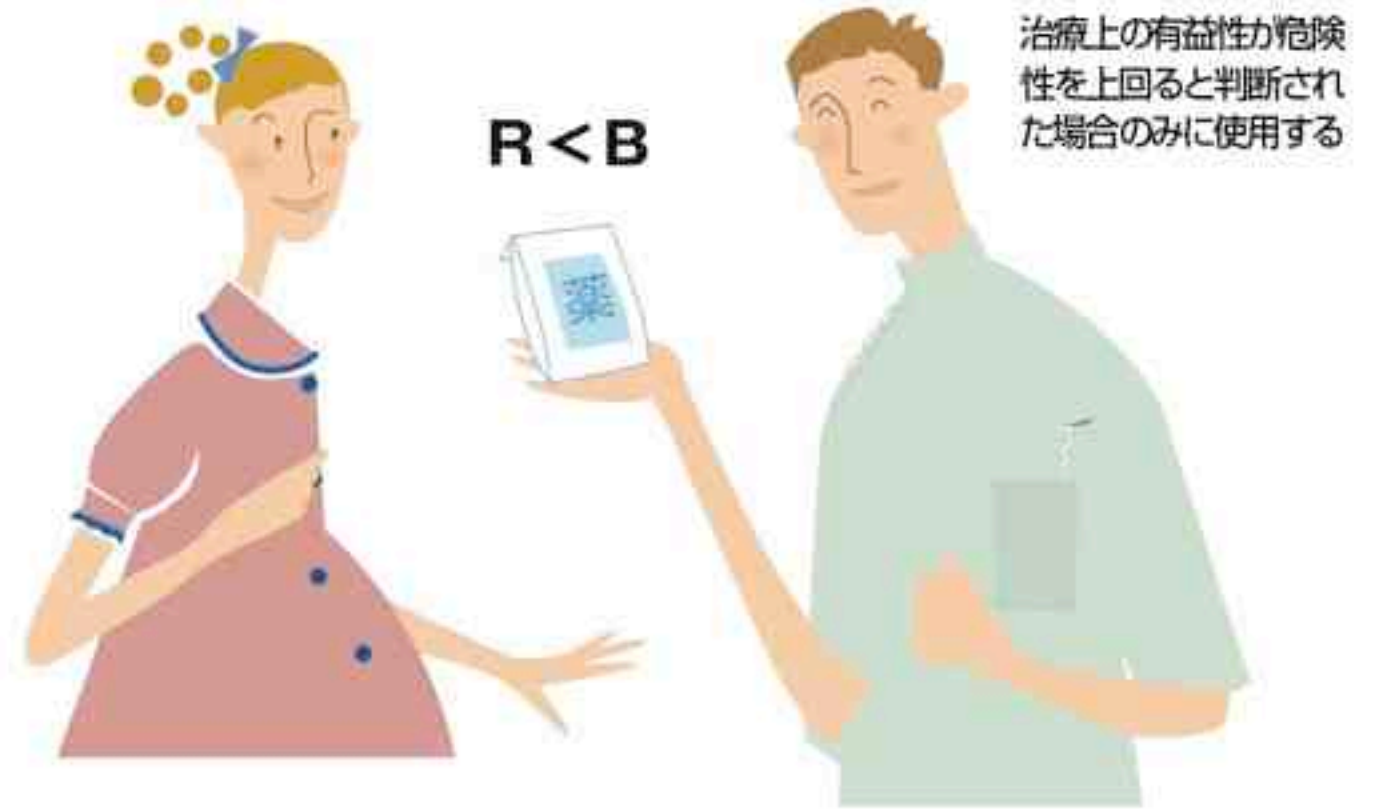
妊娠可能な患者を見たら、妊娠しているかもしれないと考えるべき

計画妊娠をしない限り、妊娠したと気づいた時にはすでに胎児の器官形成が始まっている。「あのとき飲んだ薬は大丈夫だろうか」と、妊婦の悩み・不安は出産後赤ん坊の五体満足な身体を見るまで続く。歯科医師は、**妊娠可能な患者を見たら、妊娠しているかもしれない**と考えるべきだ。

妊娠中の患者に対する投薬上の注意として、表1-1にあげた事項を知っておくべきだ。聞き慣れない、珍しい薬物名があるが、これは最新の第15日本薬局方で改正されたものである。なお、薬物の市販名については巻末の薬品名一覧を参照してほしい。(本文より)

歯科適応症のある薬物の胎盤通過性に関しては、表1-2となる。**同じ薬効を有するなら、胎盤通過性の低い薬物を選択することが望ましい。**

危険性 (RISK : R) と有益性 (BENEFIT : B) との関係は、表1-3となる。**基本的にはR < Bを選択すべきである。**
(本文より)



「大丈夫ですよ」だけでは納得してもらえない時代です。特に、妊娠中・授乳中は敏感にならざるをえません。そんな時、本書をお役立てください。全面改訂・大幅増ページでより充実、カラーでより見やすくなりました。

主な内容目次

- I 妊婦の薬物療法
 - 01 妊娠と知ってからでは遅すぎるクスの注意〔適齢期女性患者が来たら、まず妊娠を疑え/妊婦に対する薬物の注意事項〕
 - 02 薬物の胎盤通過性〔胎盤通過性の低い薬物を選択/基本的に危険性(R) < 有益性(B)の薬物を選択〕
 - 03 催奇性を念頭において歯科で使う薬物を安全な順に並べると〔妊娠の時期と奇形発生の関係/催奇性を考慮した薬物の使用〕
 - 04 胎児に安全な歯科処方〔歯周組織炎・歯冠周囲炎・顎炎/蜂巣炎(蜂窩織炎)/歯痛〕
 - 05 周産期の歯科処方の注意〔出産前にも注意が必要〕
- II 妊婦の歯科治療
 - 01 妊婦の歯科治療がおこなえる時期〔応急処置のみが原則/発生と歯科治療の選択〕
 - 02 歯科医が母子健康手帳に記載する事項〔母子健康手帳から得られる情報と歯科医が記載する事項〕
 - 03 妊婦の歯科治療のポイント〔治療に入る前の注意事項/X線撮影時の注意事項/局所麻酔薬の安全使用/抜歯時の注意事項/歯冠周囲炎(智歯周囲炎)治療時の注意事項〕
 - 04 妊婦の生理学的特性〔知っておきたい妊婦の生理学的特性/妊婦の合併症に関する用語〕
 - 05 妊婦にみられる口腔疾患〔健全歯の疼痛/妊娠性歯肉炎/妊娠性エプーリス〕
- III 産婦人科医との連携
 - 01 歯科医への受診経路〔婦人科医からの紹介/歯科医を直接受診〕
 - 02 産婦人科医との連携〔照会状に必要な内容事項/照会状の例〕
- IV 授乳婦の歯科治療
 - 01 出産婦の歯科治療のポイント〔出産婦の歯科治療のポイント/出産に関する用語〕
- V 授乳婦の薬物療法
 - 01 母乳中への薬物の移行(M/P比)
 - 02 母乳中の薬物の乳児への影響
 - 03 乳児に安全な母親の歯科処方〔歯周組織炎・歯冠周囲炎・顎炎/蜂巣炎(蜂窩織炎)/歯痛〕
- VI 薬品名一覧
 - 一般名優先/市販名優先/抗菌薬の安全性/抗炎症薬の安全性/ステロイドの安全性/局所麻酔薬の安全性

新 妊婦・授乳婦の歯科治療と薬物療法 _____ 冊

お名前/医院名 _____

TEL _____

ご住所 〒 _____

●お取扱いは

●発行 砂書房

申込書